



いずみさき

平成29年
2月1日
発行

No.31

議会だより

表紙：泉崎第二小学校



輝く未来を子ども達へ

目次

- 2～3ページ……………特別職報酬・補正予算案決まる
- 4～7ページ……………一般質問・議員が村政を問う！
- 8～9ページ……………泉崎第二小学校6年生議会傍聴感想
- 10ページ……………議会インフォメーション



いずみちゃん

増額し 43億7,226万4千円

12月定例会では条例5件、補正予算4件、人事3件、発議1件について審議しました。議案12件、発議1件を原案どおり可決しました。

泉崎村自然環境保全審議会の委員報酬など特別職の報酬・費用弁償、条例の改正に伴う議案、再算定・制度改正に伴う予算の増額補正などです。

一般質問では5名の議員が村政をたずねました。

一般会計
補正

抜粋

：防災拠点施設整備事業防災資機材

購入費 **400万円**



議案第60号



：図書購入費 **350万円**

：積雪への備え～ 除雪委託料 **500万円**

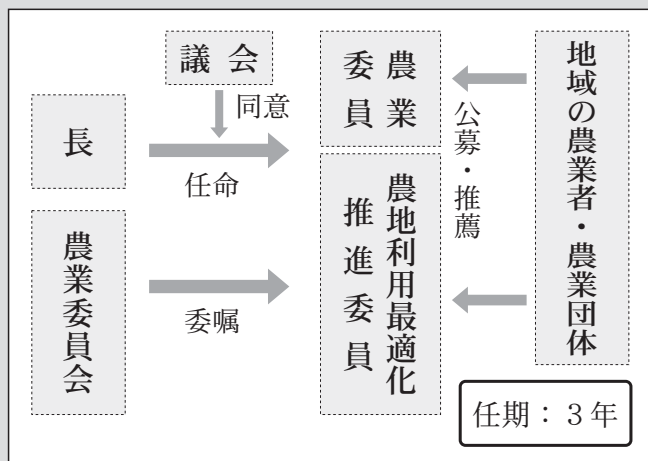
：幼稚園トイレを一新！洋式へ～

工事費 **800万円**

：給食センター管理費 **108万円**

：道路維持補修保全工事費 **350万円**

：農地利用最適化推進委員と農業委員選出方法



議案第55号

農業委員の定数削減

選挙から選任へ

条例の改正により公選制から長の任命制へ

泉崎は平成29年7月20日から新体制へ変更になります。

- 農業委員定数 8人
- 農地利用推進委員定数 8人

質疑応答

問 農地利用最適化推進委員の役割は？

答 農地利用の集積、集約、遊休農地等の発生防止と解消、新規介入の促進を各農家の方との話あいを行う役割。

12月定例会

会期：12月8日(木)
～12月16日(金)

1億3,106万円 一般会計補正

議案	提出議案	可・否
議案第55号	泉崎村農業委員会の委員等の定数に関する条例	原案可決
議案第56号	泉崎村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第57号	泉崎村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第58号	泉崎村税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第59号	泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第60号	平成28年度泉崎村一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第61号	平成28年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第62号	平成28年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第63号	平成28年度泉崎村工業用地造成事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第64号	泉崎村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 住所 泉崎村大字北平山字新田 氏名 穂積 養重氏	同意
議案第65号	泉崎村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 住所 泉崎村大字泉崎字館 氏名 小林 伸幸氏	同意
議案第66号	泉崎村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 住所 泉崎村大字関和久字下町 氏名 北澤三知子氏	同意
発議第14号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について	原案可決

人事案件



議案第64号
泉崎村固定資産評価審査委員
穂積 養重氏



議案第65号
泉崎村固定資産評価審査委員
小林 伸幸氏



議案第66号
泉崎村教育委員会委員
北澤 三知子氏

有害駆除について

鈴木 村内の猪による被害状況、面積。

産業グループ長 踏瀬地区内で1万1882㎡の水田耕作放棄地、平成28年度堂の下、烏峠の麓、太田川の被害の報告を受けている。関係機関と情報を共有し対応を検討していきたいと考えています。

鈴木 一番の対策方法は、捕獲ですが踏瀬地区で電気柵が設置されましたが村補助での電気柵の設置か。

産業グループ長 多面的機能支払交付金事業での補助を受け柵を設置し今年度は被害が出ていないと報告もなっています。

鈴木 村は補助にはかかわっていないのですか。

産業グループ長 多面的事業での計画に対して承認を



鈴木 清美 議員

受け補助がされます。鈴木 組織がある場合はいいが、無い場合、村として単独に自分の田畑を守るためにどんな対策をとっているのか。

産業グループ長 現在、県南農林と白河市大信地区、矢吹町、泉崎で協議会を設置し対応していく動きがあります。

鈴木 村内の有害駆除隊の人数、村の補助金の内容について。

住民グループ長 総員8名全員が銃。3名がわな免許を所有している。26年2頭、27年6頭、28年38頭を捕獲しています。28年度捕獲に要する経費は委託料31万8440円、箱わな購入費で9万9900円となっています。

鈴木 捕獲隊員も年齢的にも大変な状況である。捕獲隊の資格を得るための講習会日数等はどれぐらいかかるのか。また、隊員不足解消に向けての対策について。住民グループ長 狩猟を行うには免許が必要です。3年に1回講習が義務づけられる。講習は原則2日間受講します。今後は有害鳥獣捕獲隊から被害対策実施隊

敬老会について

への昇格を進めており、隊員不足を解消し増加を目指す。今後、広報等により隊員の募集に努めていきたい。鈴木 駆除隊に入ることでの税の優遇措置はあるのか。

住民グループ長 狩猟免許税については優遇措置がある。

鈴木 今回、議会に第二小学の6年生が傍聴に入っております。70歳と75歳の敬老会の年齢について。子ども達にこの話が分かるのは50年60年後のことだと思います。

泉崎村は70歳ですが他市町村の招待年齢は。福祉グループ長 他市町村、

白河は合併で75歳、西郷村は平成15年、中島村は平成18年、矢吹町は正確に知る職員がいらない以前から対象年齢の引上げです。

鈴木 1257名の招待者、その中出席何人ですか。該当の中には招待状が送られて元氣なのにこれで年をとった大変寂しく思う人に多いのです。70歳過ぎて現役

がいつぱいいます。福祉グループ長 実際の出席者361名ですが、受付をさして帰ってしまう方もいる。正確には数字は出せない。実際にはもっと少ない数です。

村長 今までの慣習に沿って70歳以上に村はしていますが、近隣と同じように75歳対象に真剣に考えていきたい。

鈴木 受付だけして帰る人については、70歳で20%弱ぐらいであるため、75歳にするにも必要では。

村長 私独断で5歳引き上げるのは決断できない。引き上げるのに異論はない雰囲気ですが経費の問題。十分中身を精査し、基本的には上げることはいいんではないか。

鈴木 招待のはがきで本人確認する。祝いとして出したものに対して考えが違うのではないか。

福祉グループ長 対象者の長寿と健康を祝うために支給しているのだから対象者に利用していただくことです。

鈴木 敬老者に支給した券ではあるが家族で利用することについては、贈ったも

のだから本人のものと考える。よいのでは。

村長 家族の中で介護も面倒みているので範囲を広げるのもいいのではないか。よそは商品券という形で渡しているところもある。要望に沿って検討し、家族が利用できない不便さも考えなければと思う。真剣に考えていきたい。

鈴木 平成12年に財政難から祝金の廃止で入湯券に変わった。お祝いの考え方をしっかりと考えて来年度に実施していただきたい。また他市町村の状況はどうなっているか。

福祉グループ長 白河市では75歳以上に2千円の商品券、西郷村は祝い金として5千円、中島村は80歳以上の方に現金5千円、矢吹町は90歳から99歳に商品券1万円と綿毛布、100歳以上の方に毎年10万円をお配りしています。

村長 祝い金の件、これから議会の皆さんと一緒に相談して、真剣に検討して参りたい。

鈴木 来年の敬老会でしっかり確認したいと思っています。

側溝土壌の除去について

飛知和 長年にわたりU字溝の中に土や土砂、その他が堆積しており心配でした。今回は、全て国費で除去するとの政府方針に対し、村当局としても細部にわたり対処して頂きたい。

建設水道グループ長 原発事故以降、放射性物質の拡散に繋がることから行わないように指示。その後各集落からの側溝の土砂、汚泥の除去の要望が多く、村も県に再三補助事業で実施できるよう要望してきた。その後、国の財政支援をする方であり、今回一回限りの100%補助事業となる。飛知和 村内全域で行うのか。



飛知和 良子 議員

建設水道グループ長 除染を実施した道路、側溝の路線を除いた村全域の村道等が対象。

飛知和 現在までの数量は把握できているのか。

建設水道グループ長 9月に現地調査を実施。その結果、村道36路線、法定外道路等11路線。計47路線に堆積物が確認。その内、川崎地区6路線。関平地区41路線。道路の延長として1万4079m、側溝延長で2万1019m、堆積物の量は全体で951m³、事業の希望を復興庁原子力災害対策課に10月17日提出。仮置場が決定した市町村に対し受理及び事業認定がなされるものと聞いておるので、仮置場の確保に努め、事業認定を早期に受けたい。

飛知和 実施の期間はどうか。

建設水道グループ長 平成32年度が最終年度。29年度から計画的に行っていく。仮置場については、未定である。今後国からの支持があり次第行っていきたい。

飛知和 図面はできているのか。

建設水道グループ長 まだ確実なものがないのでご提示できません。

飛知和 関平地区が41路線、非常に多い事が解りましたので、仮置場を早期決定し、事業を進めてください。

直売所について

飛知和 今までの経過を踏まえても失敗は許されない。今後共総力をあげ村民、委員、行政と一致協力し成功に導いていきたい。

産業グループ長 直売所の方向内容については、農産物の加工や特産品の開発等の必要性からこれらのスペースも含めて最終的な設計の段階に至っている状況であります。

飛知和 今年度中の繰越し291万についてお答え願います。

産業グループ長 建設の設計内容については28年度中

に考えていきたい。

飛知和 村当局で民間より土地を借りて、有機野菜作りに挑戦しているとの事。現在の経過を今後の為に話して頂きたい。

産業グループ長 現在調査研究を行っている。3、4年かけて土作りを行い、その後栽培日誌、土壌分析表をそえて県に申請し調査を受ける。現在は申請を行う為の準備段階であり、今後認証されれば販売PRし加工品の製造を行う拠点として整備していきたい。

飛知和 有機栽培の考え方をお聞かせください。

村長 行政もバックアップしながら有機栽培の分野を開拓し、村としての活性化、農業者を中心に図れるのではないかと。また特産品、6次化産業というものの価値観が出ると思うと、健康で安心な素材を使用するということでも価値を見出すとい

う視点が大事である。泉崎村で有機栽培が可能かどうかを事実としていければ、今後米作りについても真剣に考えていきたい。

飛知和 有機栽培への思いを聞き、私も出来る限り協力していきたい。次に直売所で国と県に補助金制度があるとのことですが現状の所お聞かせください。

企画財政グループ長 地方創生拠点整備交付金として、6次化産業施設の対象となることから、申請を進めている。1月の下旬に申請をし、国の審査を経て、1月の下旬に採択になる市町村が発表される。申請予定の事業費については交付税措置の対象となる。

飛知和 これに向けて頑張ってください。

戸別防災無線 受信機設置

白石 現在防災無線個別受信機の設置が行われているが、事業の進捗状況を伺うと同時に、同一世帯で生活を別にする世帯の設置や企業の設置要求にどう対応するのか。

住民グループ長 11月末現在、55%2050基中391基設置済み。屋外拡声子局は12月末までに21基すべて完成予定。小中学校の放送設備は冬季休業中に工事を行う。同一世帯で生活が別という世帯については、1世帯一基が原則だが受信機の余剰が見込まれることから、希望により設置したい。企業への設置は各家庭への設置を優先し、進捗状況を見ながら企業にお知らせしたい。

イノシシ等 被害対策

白石 イノシシ被害対策について、政府は平成19年12月に「鳥獣による農林水産業等にかかる被害防止のための特別措置に関する法律」を定めた。この法律では市町村が被害防止計画を策定して福島県と連携し、鳥獣被害対策実施隊を作った対応するならば、補助も出さずるとしている。東北6県で9割以上の自治体が計画を策定し、福島県内59市町村のうち53自治体が計画を策定している。近隣市町村で策定していないのは泉崎村と中島村だけである。早急に計画を策定し対応を具

体化すべきでないか。

住民グループ長 被害防止計画の策定を現在進めている。29年度はその計画に基づき活動を展開したい。

農業振興対策

白石 安倍政権は11月29日、農林水産業地域の活力創造

本部の会合を開き、農林水産業地域の活力創造プランを決定した。ねらいは、農村に強い基盤を持つ農協の事業を縮小して、企業を参入させるもの。プランでは農協の委託販売を買い取り販売に変え、農協の購買事業縮小や事業の譲渡売却を提言している。農業の分野では平成30年問題が論じられている。農業分野の各種補助金が減反政策の廃止とともに打ち切られ、平成30年以降、農業生産をリタイヤする農業者が大幅に増えることが予想されている。その中で久保木村政の農業振興策が見えてこない。どうするのか。国県に対してどのような要望を行なっているのか。

産業グループ長 高齢化の進行に伴う後継者不足は大きな問題。国は持続可能な農業構造を確立するため、担い手の育成確保と農地の集積集約化に取り組み、これを推進する地域に支援事業を行っている。村では青年就農給付金制度やプロ経営体創出事業、規模拡大に

必要な機械施設助成、多面的機能支払交付金事業、経営所得安定対策事業などに取り組んでいる。東北農政局及び県と市町村との意見交換会が開かれ、現行補助事業の継続や拡大、若者就農拡大事業の展開などの要望が出された。

村長 米作中心の兼業農家が大半であり、農業で生計を営むより勤めて生計を立てているのが実態。今行政として何ができるかは非常に難しい問題。少子化の時代を迎えて消費が増えない。認定農家に土地を集積して、大規模農家を育成するというのが国の方向で、企業の参入もやむを得ないのでないかと思う。農地の集積のために換地業務も含めて基盤整備を国のリーダーシップで実施すべきだ。農業用地を荒廃しないように大型化して有効活用を図っていく時代なのではないか。自立できる農業が必要だと思っている。

白石 戦後日本の農業は農地解放で、農家が農地を持てるようになり農業が発展

してきた。減反政策も兼業化することによって豊かな暮らしを実現してきたと言える。現状では大規模化した農家ほど経営が苦しい。市町村としてコメ生産を守っていくためには、これまでと違う新たな構想が必要だと考える。

烏峠神社の 保存修復

白石 烏峠神社の老朽化が進み、最近宮司が個人負担で修復している。この工事を含めた今後の維持補修について、泉崎村としても助成を行っていく必要があるのではないか。少なくとも烏峠山頂などは歴史的風致地区、あるいは史跡公園として保存管理していく必要がある、国県と相談するべきだ。

生涯学習グループ長 昭和51年6月22日村文化財条例により、本殿を有形文化財に指定し、平成21年、22年に劣化防止工事を半額助成で行っている。事業費総額は400万円。



白石 正雄 議員



田崎 能信 議員

田崎 質問の前に、この1年間の感想をまず述べさせていただきます。この今の12月議会、私はちょうど1年を迎えることになりました。この間、一般質問、補正予算と、そして27年度決算の審議を経験して、一応一連の予算関係の一巡を見てきたことになりました。そこで、今回私なりに感じたことを感想として述べさせていただきますことにいたしました。27年度決算で感じました一つに不用額(予算残額)がありました。その額は2億8千8百何がしというところで、予算額の約4%ぐらいあったろうかと認識していましたが、その額は多いのか少ないのかは、私としては判断できない領域なのでわからないが、公会計の処理、手法で当然発生するものだろうと推測、理解はできます。ただ、予算を使

わず残した額としては多額だなという感じのところでした。これは行政見積もりが甘かったのか、あるいは住民需要を抑制しての結果かどちらかだろうと感じたところでした。また、実質収支では、4億6千9百何の黒字決算を出していることになりました。実質公債費比率も8.8%、将来負担比率も大幅に改善され、資金不足比率も全て資金不足なしで財政的に大分余裕が出てきたというふうに感じております。これは大変結構なことであり、行政経営が自治体の財政収支に余りこだわってしまうと、財政収支は回復したが、本来の地方自治は衰退したという憂き目を見かねないだろうとの識者の意見もあります。これらの懸念のためには、予算執行率を上げ、また行政見積もりも甘くないように、不用額が余り出ないように心がけることも大切なことであろうと感じたところであります。一般会計予算は、この額で1年間村民のために使っていくと村民に公に約束した額であるとすれば、これを使わず残して不用額、あ

るいは黒字決算とするならば、村民に当初約束した一般会計予算の予算執行の不履行になりはしないのかという思うところもあります。もちろん、公会計の技術的なところはわからない者の、稚拙な感じかもしれないが、この1年で感じたことでした。

福祉政策について

田崎 今まさに高齢化社会に進んでいるわけで、介護施設の充実が求められているのは時代の要請にもなっております。こんな中、村にもう一つのケアハウスができることになっているが、入所希望者は既に満杯と聞きます。このことは入所待機者もかなり多いと推測できます。近々にもっと施設をつくっていかねればならないと思うが、そのような対応を村は今あるのかどうなのか伺いたいと思えます。

ルその分が完全に余裕があるということでもないんです。ですから、その辺についてはきめ細かく説明をすれば、多分、田崎議員もわかってくれるんだらうというふうに思いますけれども、いざにしてみても余裕があるものについては、福祉政策についてもしっかり対応していきたいというふうに思います。

田崎 過去に敬老祝い金5千円を給付していたことがあります。当時の財政は大変厳しいものであったと想像できるが、そういう中で給付であったということであり、その後、財政が破綻寸前までの状況になり、給付も中止となって、現在も給付はされておられません。ただ入浴券6枚発行されておりますが、私は福祉政策の一環として、敬老祝い金を5千円から1万円にして、財政再建の達成を実感してもらおうことにしたいと思っております。敬老祝い金の給付、1万円に引き上げて給付を要請するが、考えを伺います。

村長 泉崎村は、千円の記念品を出して、なおかつ温泉入湯券として3600円

分出している。ですから、計4600円分は出している。これは、よその市町村の5千円に匹敵するお祝い金なり記念品を出しています。ですから、それを今後どうするかの問題なんです。それを一挙に1万円にしようことなのか。ただ、全体の基金、積立金ですね、いろいろあります。減債基金から財政調整基金からいろいろございます。私は20億円ぐらいは基金として積みたいと思っております。よそがやらない段階で1万円お祝いとして出しようという体質になっていくかという、まだそこまでいいない。



・その他の質問事項
区長・組合長会議について

6年生議会傍聴

（12月13日（火）12月定例会の一般質問の議会に泉崎第二小学校の6年生が社会科授業の一環で傍聴に訪れました）

○会議の様子を見て、私は、とてもすごいなどおどろきました。会議をしている様子は、テレビなどで見るだけで、実際は、どのような話し合いや迫力があるのか分かりませんでした。なので質問に対して適切に答えていたり、議長さんの会議の進め方などすごいと思いました。

○会議では、村民の役に立ったりするため今、行っていることを改善するのか話し合っていることがわかりました。時間を決めて話し合ったり、たくさん質問をしても、しっかり答えていたりとてもスムーズにいていて、すごいなと思いました。

○役場の会議のようすを見てきました。議長さんに名前をよばれたら「はい、議長」と言っていたのでびっくりしました。社会に出るとこれがあたりまえなのかと少し興味を持ちました。

○会議をしている様子を見て、泉崎村のことをよく考えているなと思いました。そして、会議には村長はいないと思ったけどいたのでビックリしました。会議にはいろんな人が関係していることが分かりました。

○今日、議会を見学してみて、けっこう自分達に関わる事を話しているなと思いました。あと、敬老会の招待年齢を70才から、75才することを、みんな賛成しているのに、完全に決定しないので、少し不思議に思いました。

○僕が今日、議会を見学して初めに思ったことは一つの議題に対して約30分間も質問と答弁をくり返して話していてすごいと思いました。また、同時に疑問が出ました。「なぜ名前を呼ぶとき必ず〇〇君と呼ぶのか？」と不思議でした。

○今日の、見学で知れたことは、まず議員

さんの机の上には、縦長い名前と番号があって、名前を呼びやすくしている。2つ目は、新しいことだけを考えるだけでなく、見直しもしている。そして疑問はいい金などはどこからくるのかです。

○私は、今回、役場の会議見学をして、泉崎村の事を村長さんたちは、すごく考えてくれている事が分かりました。また、質問ごとに時間がきり変わったり、1人1人に番号がついている事におどろきました。質問はできなかったけど、とてもいい経験になりました。

○会議を見て、一人で何度も何度も自分の意見を言い、何分も同じ題のことについて話が続いていてすごいと思いました。それに、質問にたいしてちゃんと答えていてすごいと思いました。

○ぼくは、役場を見学に行って、思ったことは、このようなことがあって村がなり立っているんだと思いました。理由は、役場がなかったら村はバラバラになってしまうと思うからです。



泉崎第二小学校

○私は、今日役場での会議の様子を見学しました。一つの議題の時間をしっかりと計っていたり、1人1人に番号が付いていたりと、とてもなぜだろうと疑問に思うこともありました。敬老会の見直しについても話がと切れることなく続いていてとてもすごいなと思いました。

○いろいろな地域と比べていたし議会議長が中心となって会議を進めていた。一つのことに対してたくさん質問などをしていった。

○私は会議を見て話がスムーズに進んでいて、すごいと思いました。私が中心に話し合いを進める場合、すぐ時間がかかってしまうと思います。なのでこの会議のようにスムーズに進むように生かせたらいいなと思いました。

○私が思ったことは、質問に対してすぐに答えていてすごいと思います。そして、おどろいたことは、呼ばれたら「はい、議長」と言っていたのでびっくりしました。このようななめつたに入れない場所に入れてよかったです!!

○話し合いがとぎれず続いていた。それを、ぼく達もまねしたい。あと、自分達が集めてきた情報を話し合っていた。話している時間が長かった。



○僕は今日の議会を見ていて、コンパクトで徹底的でやり半端のない議会だと思いました。どういうことかというところ、徹底的にどんな質問がくるかを考え、その応答をたくさん考えていて、止まったり、困ったりすることがあまりなかったから。(そこが素晴らしいと思った)

○今日、議会見学に行って思った事は、想像していたよりもなんか明るくて、たまに笑いがおきるのでとても想像とちがってびっくりしました。質問も村よりも住民にむけてやっているのが多いと思いました。

○会議の内容を聞いていたら、敬老会のことを中心に話していて僕達にはずいぶんと先の話だったけど、一つの話であんなに長時間話せるなんてすごいなと思ったし、少し見習いたいところもありました。今回は村のことだったけど、国も同じ感じで決めているのかなと思いました。

○私は、議員さん達の話合いを見て、見習いたい所がたくさんありました。1つ目は、おたがい自分の意見をできるだけ伝えていくこと。2つ目は、時間内に話し合いを進めていること。3つ目は、スムーズに話し合いが進んでいること。4つ目は、疑問に思ったことをしっかりと伝え、その疑問に対して、しっかりと答えられていることです。今日の議員さんたちの話し合いを私もいろいろな場で活用していきたいです。

※短い時間でしたが一般質問の傍聴をして、自分達の住む村のあらゆる問題や議論の仕方等に関心を深めたことと思います。

*** 次期定例会のお知らせ ***

3月2日(木)からの予定です。

一般質問は3月9日(木)の予定

10月31日(月)

福島県町村議会議員研修会



ビックパレットふくしまにおいて、福島県町村議会議長会主催の議員研修会がありました。

- 地方議会の課題と活性化策ー地方創生と地方議会の役割ー
読売新聞東京本社編集局企画委員 青山彰久氏
- これからどうなる政局・政治～安倍政権の展望と行方
産経新聞社編集局政治部長 石橋文登氏

議会視察



山形県川西町議会を視察いたしました。川西町議会は、議会広報コンクールで最優秀賞入賞、また開かれた議会が評価され町村議会特別表彰を受けております。

先進地に学ぶことはとても多く、議会活動、広報の編集の仕方など素晴らしいものばかりでした。ご教示いただいたこと、川西町議会で学んだことを、地元議会でもいかしていきたいと思っております。大変お忙しい中ありがとうございました。

11月1日(火)



11月20日(日)

力走する選手の応援に駆け付け、声援をおくりました。惜しくも連覇は逃しましたが、総合16位の快挙！村の部2位！選手の皆さん、ご協力頂いた皆様、大変ご苦労様でした。



**第28回ふくしま駅伝
応援！**

《 議会録画中継がスマートフォンで見ることができます。》

↓ (平成28年6月定例会より) 泉崎HP 村議会から録画中継へ！

<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>



※アクセス件数
 議会録画：月平均 64.8件
 (延べ件数 4,152件)
 議会映像：月平均 57.7件
 (延べ件数 4,734件)

編集・発行責任者 鈴木 盛利
 編集委員 鈴木 盛利
 編集委員長 鈴木 盛利
 副委員長 鈴木 盛利
 委員 鈴木 盛利
 委員 鈴木 盛利
 岡部 英夫
 星 知和
 飛知 良一
 鈴木 清美
 小林 勝衛
 鈴木 盛利